



第321号

発行  
浄土真宗  
心光寺  
奥原曇龍  
倉敷市早高426  
☎(086)420-1311



# 心を澄ませば



カット：本多紘子

秋空高く風そよぐ季節、村の神社の秋祭りのお囃子が聞こえてくる頃となりました。岡山県南では近年にない猛暑の夏が続ぎ、愚僧も夏バテのまま実りの秋を迎えています。皆様お元気ですか。

九月になって、たくさんさんの台風が日本に襲来し、全国各地で大雨や風で災害が発生し驚いています。これまでは台風の被害が少なかつた北海道や岩手県でも未曾有の大雨で川が氾濫したり、洪水で橋が流され、多くの死者がでました。地球温暖化による異常気象が、世界中に大災害をもたらしているようですが、なんとかならないものかな。

『阿弥陀経』のなかに「五濁悪時悪世界」とありますが、五濁とは劫濁・見濁・煩惱濁・衆生濁・命濁のことです。劫濁の、劫とは長い時間の単位で、時代が経てば経つほど何もかも濁ることを示しています。時が移れば移るほど、この世界は汚れるのです。科学や医療がどんなに進歩しても、人間の悩みはどんどん深刻になります。見濁は人の思想や見解が濁り、自己中心的な人間が増えて来ます。目先の我欲にとらわれ、邪なものの方をして社会に害毒を流します。煩惱濁は貪りの欲であれもこれも欲しくて満足できず、思い通りにならなければ子供のよう腹を立て、自己反省も自分の都合の良いように反省す

\*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

るので愚痴ばかり出る汚れです。衆生濁は生きとし生きるものの性質が悪くなる濁りです。命濁は命が濁り、本当の命を生かすことが出来ない汚れです。人間として悔いのない生き方ができなければ、百歳まで生きても短命なのです。

九月に入って、富山市議会の政務活動費不正問題で9名の市議会議員が辞職しました。白紙領収書を使った架空請求や領収書に数字を書き加えて不正請求をし、私的な費用に使ったことが発覚して辞職せざるを得なくなつたのです。これも「五濁悪時悪世界」ですね。

東京都の中央卸し市場である築地市場の老朽化による移転先の豊洲市場の建物の下に盛り土がなかつた問題で、土壌汚染対策が不十分だと移転が延期されました。都の幹部である歴代市場長も建物の下に盛り土をせずに地下空間を利用した工法を認識していなかつたと説明して、責任の所在が不明となっています。東京都民の胃袋を賄う大切な中央卸し市場の移転を準備していた卸しの店の方は、移転費用が重なり悲鳴をあげています。モノと人とカネとエネルギーと情報絶え間なく流れ、大規模で複雑なのに円滑な市場の仕組みによつて、日本の食が安全に運ばれることをもつと大事にして貰いたいものです。

兼好法師が『徒然草』のなかで「才能もまた増長せる煩惱だ」とあります。才能があることは素晴らしいことであり、人生にさまざまな可能性を約束してくれます。しかし、才能に恵まれた人は往々にして自己中心になりがちで、余計な競争や、名声への執着を深めて苦しむ機会が増えます。才能に溺れて自己破滅する人もいます。世界の企業が優秀な社員を抱えて、猛烈な競争をしています。若いつきの才能も年をとれば劣化し、不必要な人となれば落胆は大きいですよ。

高度な社会になつたのに貧富の差が二極化し、生活苦に喘ぐ人が増えているのは悲しいことです。結婚の夢が持てない若者が増えているのも問題です。若者と年寄りが孤立して助け合えないのも残念です。拝み合い、共に助け合う社会を何とかしたいな。合掌(奥原 曇龍)

『濁りの世』を澄ませば見えてくる 拝みあいつつ命尊ぶ』 どんりゆう



カット：奥原 唯

## ともしび説法

日時・十月十二日「水曜日」 午後一時から午後四時頃まで。  
十一月三日「木曜日」 午前十時半から午後四時まで。  
場所・倉敷市早高426 新本堂  
電話 086-420-1311





# 法然上人ものがたり(70)

浄土真宗の宗祖・親鸞聖人は二十九歳の時に、比叡山を山出られ、専修念仏を説かれた法然上人のもとで弟子となります。

親鸞聖人を本当に理解するためには、師匠である法然上人のことを知っていただくたいと法然上人ものがたりを約六年間、拙い文章で書き続けてきましたが、皆様の応援のおかげでここまで辿り着きました。

南無阿弥陀仏の御名を称えれば、誰でもが平等に浄土に救われるという専修念仏。口で称えるだけの易しい行を、どんな深い意味をもつて、法然上人が命懸けで説いて下さったのか、時代背景の中で少しでも理解していただけたでしょうか。

仏道を歩むとは、自利利他円満の境地にたどりつくことです。自分の幸せと他の人の幸せを喜ぶ心が一致したとき、心の安らかさが生まれ、安心と穏やかさが得られることを悟りとも呼びます。しかし、このことは大変難しく、一部の智慧あるエリートや戒律を守れる立派な人しか悟れないのです。

智慧もなく、生きるためには戒律も守れずに、殺生や盗み、邪淫をしながら生きられないものにも、仏様の救いを告げられたのが法然上人です。濁世末法の時代に、戦乱や天災飢饉に翻弄される民衆にとって、生きることは地獄であった。この地獄から浄土に生まれていきたいと切実に民衆は願っていました。誰でも、いつでも、どこでも、簡単に称え救われる念仏の行こそ、阿弥陀仏の本願にもとずく極善最上の仏法だったのです。

自己中心にしか生きられない私たち。自己反省も自分の都合の良いように反省する。自分はある人よりはマシだと比較し、妬み、嫉みもする。そんな極悪人の私が、法然上人の教えで、今まで見えなかった本当の私と安心して出会えることを助かるという言葉のです。あなた、助かって下さい。合掌 (奥原豊龍)



8月29日 門の起工式法要

## ともしび法話

実りの秋です。九月は日本列島にたくさんのお見舞い申し上げます。暑かった夏も秋を迎え、皆様方お元気でしょうか。

心光寺では十一月三日、秋の法要準備に大忙しです。ピアノ演奏・民舞やフラダンス、仏教講演もあり、皆様お参り下さい。心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

八月に入り暑さに体調を崩し、それでも大好きだった愛犬の世話をしていた主人が突然に御浄土に旅立ちました。お葬儀では豊龍先生にお世話になり感謝しています。倉敷市中島 磯野 和美

最近「気配り」のない人が増えて寂しいです。何気ない優しさを感じ、ホッと心がするの、気配りの人がいるから。「気は心」、目に見えないものを大切に。倉敷市茶屋町 河野 一之

秋風に誘われ「ともしび」説法聞けば、人は死に別れてから、本当のその人と出逢うような命の不思議さを感じました。倉敷市帯高 田辺多恵子

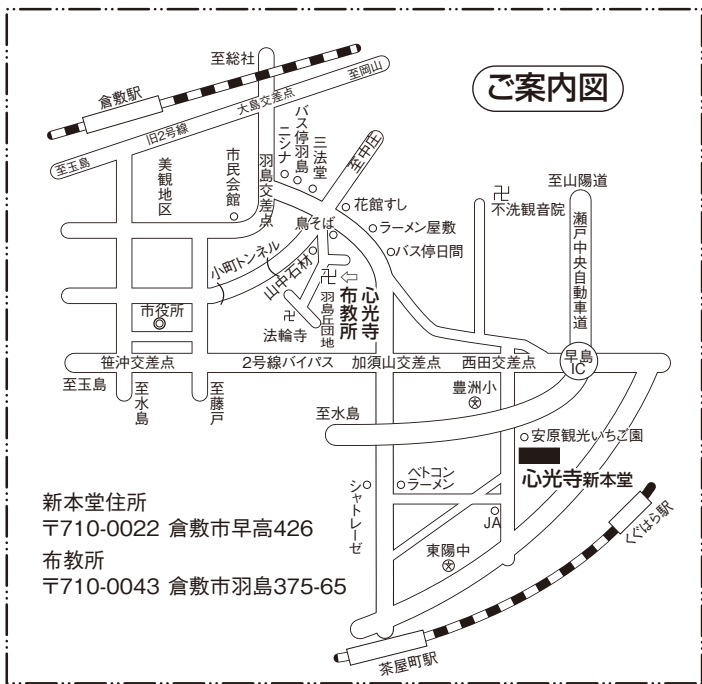
秋風にゆらぐともしび寺説法 別れて出逢う命の不思議 田辺多恵子

## ともしび説法

日時・十月十二日「水曜日」 午後一時から午後四時頃まで。  
十一月 三日「木曜日」 午前十時半から午後四時頃まで  
場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて  
電話・(086)420-1311 駐車場有り  
(宗派をとわず、まじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。)

○ともしび説法・お寺の行事予定  
十一月 三日(木)・午前十時半から午後四時・早高の本堂。  
午前・フラダンス、ひばり会民舞 午後・法要儀式、仏教講演。  
十二月 十四日(水)・午後一時から午後四時・早高の本堂。

☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。  
ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)



◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございます。

倉敷市 高尾様 高橋様 田辺様 三千元

新本堂住所 〒710-0022 倉敷市早高426  
布教所 〒710-0043 倉敷市羽島375-65

## うしろの詩

里山の空は青し 赤とんぼ飛ぶ  
挫折をこわがり飛べない自分  
彼岸花に慰められ  
あぜ道を ひたすら歩く  
コオロギも蛙も懸命に  
生きているだけ生きている  
さて どちらに行こう



カット:吉岡美枝

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんに紹介してもらおうより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426  
浄土真宗(じょうとしんしゅう)心光寺  
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322  
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「321号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法の日には、茶屋町駅に12時35分頃、お寺より自動車でお迎えに行きます。車の送迎が必要な方はお寺まで、ご連絡下さい。合掌 総代長 三村健